

令和8年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面（集合型）

研修名	英語授業における多様な子どもたちへの工夫と支援 （※反復開講）							
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応		プログラム指標 （しまだい）	子ども支援 授業デザイン				
キャリアステージ	自立・向上期（1～10年目）	○	研修レベル	基礎（学部1・2年レベル）				
	探究・発展期（10～20年目）	○		応用（学部3・4年レベル）				
	充実・円熟期（20年目以降）	○		発展（大学院レベル）		○		
開設日	令和8年8月18日（火）		時間数	6時間	受講定員 30名			
会場（対面）	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設）		所在地	島根県松江市大輪町416-4				
授業形態	講義、ワークショップ		対象校種 （◎推奨）	幼	小	中	高	特
				○	◎	◎	◎	◎
実施方法	対面（集合型）		対象教科	外国語（対象教科外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含まれます。）				
			対象職種	広く学校教育関係者、教諭				
担当講師	おおたに 大谷みどり（島根大学教職大学院 特任教授）							
研修内容	母語ではない言語を学ぶことに、他の教科にはない「楽しさ」を感じる子どももいれば、困難さを抱える子どももいます。社会のグローバル化・多様化が進み、小中高を通して一層、言語活動の充実・発信力も求められる中、授業の中で子どもたちの困難さをどのように見取り、どのような工夫・支援を行えばよいのでしょうか。その背景や事例を紹介しながら、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。							
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。						
	8:40～9:00	受付						
	9:00～9:10	オリエンテーション						
	9:10～10:30	オンデマンド動画の振り返り①（学びの困難性の背景、日本語と英語の違い）						
	10:30～12:00	オンデマンド動画の振り返り②（英語授業における支援例）						
	13:00～14:30	子どもたちの躰きと具体的な支援の在り方を考える①（グループワーク）						
	14:30～16:00	子どもたちの躰きと具体的な支援の在り方を考える②（グループ発表）						
	16:00～16:15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時						
研修に関して各自準備するもの	・特になし							
事前課題	・特になし							

その他	<ul style="list-style-type: none">・募集要項に記載の携行品等をご持参ください。・本研修を受講される方は、必ずオンデマンド研修「英語学習における学びの多様性と、授業での工夫を考える（理論編）」（4時間）を受講してください。（オンデマンド研修 [理論編]の受講が終わっている方が対象です。）・講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 m.otani@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。 <p>※本講座は、8月4日（火）鳥取県教育センターで実施する講座と同じ内容です。</p>
-----	---